

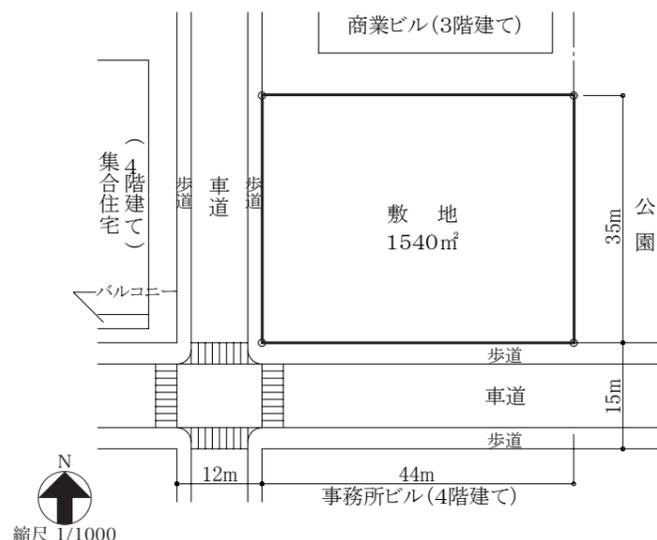
対策課題 5 地域図書館 (段床形式の小ホールのある施設である。)

I. 設計条件

この課題は、ある地方都市の市街地に、幼児から高齢者まで全ての世代が利用できる、地域に根ざした図書館を計画するものである。計画に当たっては、明るく開放的な施設とするが、小ホールに関しては、映画、人形劇等の視覚効果に配慮して、採光無窓室とする。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、近隣商業地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は70% (特定行政庁が指定した角地における加算を含む。)、容積率の限度は300%である。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- 気候は温暖で、積雪についての特別の配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- 構造・階数等
鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造又はこれらの併用とし、地上2階建ての1棟の建築物とする。
- 床面積の合計
塔屋を除く床面積の合計は、1,500㎡以上、1,800㎡以下とする。この課題の床面積の算定においては、ピロティ、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しない。
- 要求室
下表の室は、すべて計画する。

設置階	室名	特記事項	床面積
・開館時間は午前9時から午後7時までとするが、小ホール、ホワイエ、会議室については午後9時まで利用できる。			
1階	一般開架室	・一般書架エリア約300㎡を設け、書架、通路、ソファ、椅子及びテーブルを約30人分適宜配置する。なお、上部は吹抜けとし、天井高さ7m以上とする。 ・貸し出し・返却カウンターを設け、エントランスホールに直接面するものとする。 ・新聞・雑誌、郷土資料、AV、レファレンスの各コーナー(面積適宜)を設け、書架、ソファ、椅子及びテーブルを適宜配置する	計約500㎡
	児童閲覧室	・幼児コーナー約30㎡を設ける。	計約100㎡
2階	小ホール	・集会、講演、映画、人形劇等を行う。 ・100席程度(固定席)とし、床は段床とする。 ・ステージは組み立て可動式とし、奥行2mとする。 ・客席の天井高さは、最も低い部分で3.5m以上とする。 ・天井付け映写機、ライト等を操作する操作室(面積適宜)を設ける。	約160㎡
	小ホール倉庫	・小ホールに近接させる。	約25㎡
	ホワイエ	・小ホールの待合、休憩に利用し、ソファ等を配置する。	適宜
	会議室	・20人程度が対面形式で利用できる。	適宜
1階	エントランスホール	・風除室、ロッカーコーナーを設ける。 ・傘立て、ブックポストを設ける。	適宜
	事務室	・事務員5人が利用する。	適宜
	守衛室	・守衛は1人とし、通いとする。	適宜
1階又は2階	図書作業室		約40㎡
	閉架書庫		約100㎡
	館長室 職員更衣室	・執務机、椅子、ソファセット等を設ける。 ・男子用、女子用をそれぞれ設ける。	適宜
適宜	設備スペース	・採用した設備計画に応じて、機能のわかる名称とした設備機械室(空調、給排水、給湯、電気、消火等)、屋外機器置場等を計画する。	適宜
・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。 ・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

3. その他の施設等

- 駐車場は、車椅子利用者用として1台分、サービス用として1台分を敷地の建物計画範囲に設ける。車椅子利用者用の駐車場は、幅を3.5m以上とし、建築物の主要な出入口からの距離ができるだけ短くなる位置に設ける。なお、利用者用の駐車場については、隣接する公園内の公共駐車場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- 自転車置場は、来館者用として50台分(1台当たり0.5m×2m程度)設ける。
- (1)及び(2)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - 敷地の周辺環境に配慮する。
 - 利用者用諸室と管理・サービス諸室を適切にゾーニングし、明解な動線計画とするとともに、避難動線にも配慮する。
 - 建築物はバリアフリー、セキュリティ・防犯に配慮する。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
 - 構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
 - 耐震性に配慮し、耐力壁等を設ける。
 - 部材の断面寸法を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備等を適切に設ける。なお、空調設備は単一ダクト方式と空冷ヒートポンプマルチ型エアコンの併用とする。
 - 環境負荷低減に配慮する。
 - エレベーター等を適切に設ける。

II. 要求図書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 1/200	① 1階平面図兼配置図及び2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等 ハ. 採用した構造種別、架構形式及びスパン割りに応じて必要となる構造要素(凡例の空欄に名称・記号を記入し、図示する。) ニ. 設備シャフト〔パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)〕の位置 ホ. 設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。) ヘ. 各要求室、各コーナーの床面積 ト. 断面図の切断位置 チ. 要求室の特記事項に記載されている什器等
(2) 2階平面図 1/200	② 1階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 駐車場(車椅子利用者用駐車場、サービス用駐車場、及び出入口) ハ. 自転車置場(台数を明示。) ニ. 通路、植栽等 ③ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 直下階の屋根、ひさし等となる部分 ロ. 小ホールの客席、ステージ(点線にて明示。)、スクリーンの位置、及び客席数 ハ. 居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路 ニ. 吹抜けの位置
(3) 断面図 1/200	① 切断位置は、小ホールを含み、段床の断面方向とし、建築物の立体構成がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高、及び主要な室名を記入する。 ③ 梁、スラブの断面を図示する。なお、基礎については、図示しなくてよい。 ④ 設備スペースを屋上に設けた場合は、点線にて図示した上、主な機械名称を記入する。
(4) 2階梁伏図 1/200	① 2階からの見下ろし図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 ② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号・部材・断面寸法を追加記入する。

2. 面積表(答案用紙Ⅰに記入)

1階と2階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- 建築計画について、次の①～④の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 敷地の周辺環境に対応して工夫したこと
 - 建築物における内部プランニングについて工夫したこと
 - 建築物のセキュリティ・防犯について工夫したこと
 - 避難計画について工夫したこと
- 構造計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 建築物に採用した構造種別、架構形式、これらを採用した理由
 - 耐震計画について工夫したこと
 - スラブ及び小梁の架け方について工夫したこと
- 設備計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 建築物に採用した空調方式のうち、単一ダクト方式とした対象室と、採用した理由
 - 建築物に採用した設備機器について、水道・光熱費削減を目的とする「設備方式・手法」及び「その具体的な削減効果」を四つ記述すること

一級とるぞ! .Net

http://19toruzo.net/

20141111

試験場	受験番号	氏名